

同 志 社 大 学

2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 3 月 14 日提出

所 属	職 名	氏 名
スポーツ健康科学部	教 授	藤澤 義彦
研 究 題 目	超音波 2 波法によるスポーツ競技選手の骨組成の検討 －特に骨質に注目して－	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度も、科学研究費補助金 基盤研究(C)に採択された研究内容を中心に実施した。この研究は、大学スポーツ競技選手に骨組成測定を実施し、スポーツ活動による重力負荷と筋収縮が骨組成に与える影響を、筋のトレーニング効果と対比して検討するものである。もちろんこの研究に加え、各年齢層に対応する「体力・運動能力等に関する資質の検討」も同時に行った。</p> <p>特に骨組成に関する調査は、トレーニング課程における「骨」の変化を超音波骨密度測定装置により観察するものである。使用する超音波骨密度測定装置は、従来の X 線法では不可能であった「骨質」を骨の「弾性的特性」から評価できる装置である。そのため、新たな角度からスポーツ活動と骨組成との関係について検討を加えることが可能である。将来的には、本研究の成果を競技力向上のための効果的なトレーニングメニュー作成と障害防止のためスクリーニングテストの作成の資料とすることも目的とする。</p> <p>2015 年度は、上記の研究内容を海外学会で報告した。2016 年度は上記の骨組成に関する研究に加え、継続してスポーツ選手を対象に各種の測定を実施し、スポーツ選手に必要と考えられる、「内的・外的資質」を多角的に明らかにする。また 2016 年度は、科学研究費補助金 基盤研究(C)の最終年度にあたることから、スポーツ競技選手の「資質」に関する成果を国内外の研究誌や学会で発表する予定である。</p>	

